

# 第4学年3組 学級活動学習指導案

平成 17 年 10 月 28 日(金)第5校時

## 1. 題材 構成的グループエンカウンター

～色えんぴつを忘れちゃった(給食編)～

## 2. 題材設定の理由

平成 17 年度,本校は「共に学ぶ喜びを求めて」という研究主題のもと,心づくり部会では「互いに認め合う仲間づくり」という部会テーマを設定し,自己肯定感を高めるための工夫,互いに認め合う集団を育てるための工夫の研究を行ってきた。その中心になるものとして構成的グループエンカウンターを実践している。

構成的グループエンカウンターとは,各種エクササイズ(課題)を行いながら「本音と本音の交流がもてるようになるためのグループ体験」のことである。グループ体験は子ども同士,子どもと教師の人間関係演習であり,「本音を知る(自己覚知),本音を表現する(自己開示),本音を主張する(自己主張),他者の本音を受け入れる(他者受容),他者との関わりを持つ(役割遂行)」ために有効な手段である。そのため小学校はもちろん,中学校においても広く実践されている。小学校と中学校ではエクササイズの内容は当然レベルの違うものを行っているが,その根底に流れるねらいは同じである。

本題材「色えんぴつを忘れちゃった(給食編)」は「正確に話す,聞く」活動を取り入れたエクササイズである。一人一人の持っている情報を大切に伝え合い,協力して色をぬることで一枚の絵が完成していく。その過程では,一人一人の発言を大切に聞くという姿勢が要求される。また,自分の持っている情報を正確に,適切な音量で話すことも要求される。このように一人一人の情報を大切に活動は,一人一人の存在自体を大切に,互いに認め合う集団を育てることにつながっていくと考え本題材を設定した。

## 3. 児童について

男子 15 名,女子 16 名,計 31 名のクラスである。

1 学期最初の頃,3 年生からクラス替えがなかったものの担任が変わり,興味津々といった表情の子もいれば,不安げな表情の子もいた。どの子も意欲を持って発言することができるが,係決めや学級のルール作りの時には,自分の存在を認めて欲しいためか,茶化した表現で発言をしたり,他の子が発言している途中に口を挟んだりする姿が見られた。また,クラスのことを考えるよりも自分のことが優先してしまい,近くの子とのおしゃべりに夢中になってしまう子どもの姿も見られた。

2 学期になり,校内体育大会や宿泊学習などの大きな行事を経験し,集団として成長した姿が見られるようになった。

また,これまでの構成的グループエンカウンターの授業では,子どもたちが積極的に取り組む姿が見られる。特に,体を使った活動には集中して取り組むことができる。活動後のふり返し用紙には,徐々に協力する楽しさ,おもしろさなど,教師のねらいとしている学級の雰囲気や,人間関係についての感想を持った子が多く見られるようになり,学級としてのまとまりが感じられるようになってきた。

#### 4. 指導について

人間関係づくりについて、計画的に構成的グループ・エンカウンターを学級活動、道徳、朝の会や帰りの会の時間を使い行ってきた。

- 主なエクササイズ -

| 時期  | 題材名            | ねらい               | 方 法 (領域・時間等)   |
|-----|----------------|-------------------|--|
| 4月  | 「の」の字さがし       | 2人の協力             | ・二人で協力して、新聞紙の記事の中から「の」の字を探して印を付ける。   |
| 5月  | こんなクラスがいいな……   | クラスのまとめ、他者理解      | ・みんなが過ごしやすい学級にするために、こんなクラスを作りたいという各自の意見、考えを持ち寄って、一つの学級目標を作る。                 |
| 6月  | 聖徳太子ゲーム        | 班の協力              | ・3～4音節の単語を一斉に聞き、何を言っているのかを当てる。   |
|     | 人間コピー          | 班の協力              | ・一枚の絵を班ひとりずつ見に行き、覚えてそっくりの絵(コピー)を作り上げる。                                       |
| 10月 | アドイン<br>じゃんけん  | 他者理解              | ・アドインじゃんけんをして、決まった質問に班の全員が答える。   |
|     | 色鉛筆忘れちゃった(給食編) | 正確に話す、聞く力<br>班の協力 | ・一人一人が絵の色に関する情報カードを持つ。そのカードの内容は直接見せずに、言葉のみで伝える。互いの情報をまとめながら、一枚の絵を色鉛筆で仕上げていく。 |

最初はグループの最小単位である2人での協力を、そして、徐々に人数を増やし、固定した班(学級の班)、さらに、色々なメンバーで構成される班というように集団を広げていきたいと考える。今の集団は学級の固定した班の段階である。

本時は学級活動において、構成的グループ・エンカウンターで「一人一人の情報を正確に話す、聞く」エクササイズを行う。これまでの学習を生かし、楽しい活動の中で「話す、聞く」ことの重要性に気づかせたい。

まず、ウォーミングアップ(導入)では、思い切り声を出したり、足を動かしたりすることで、気持ちを和ませたい。

メインエクササイズ(中心課題)では、一人一人に違う情報カードを渡し、一枚の下絵に色をぬるというグループ活動を行う。絵に色をぬることと、協力することで絵が仕上がっていく楽しさが、子どもたちの活動への意欲を高めてくれると考える。また、自分の話を相手がしっかり聞いてくれる心地よさを感じることができる。しかし、正確にぬるためには、子どもたちは一人一人の情報を正確に聞き、情報をまとめる必要がある。難しい課題であるが、言葉かけを工夫し、意欲の持続を図りたいと考える。

シェアリング(活動をふり返り、学んだことを分かち合う)では、ねらいについてのふり返りを行い、学んだことを分かち合いたい。速さや正確さではなく、一人一人の情報を大切に考える姿勢や協力して課題に取り組んだ姿勢をふり返りたいと考える。

#### 5. 本時の目標

一人一人が、自分の持っている情報を正確に伝えることや正しく聞くことの重要性に気づく。

目的を持って話し合い、協力して課題を解決する大切さを学ぶ。

#### 6. 準備物

教師：掲示用正解絵

児童：色鉛筆(黄、オレンジ、赤、水、黄緑、茶)、下絵、情報カード(1グループ1セットずつ)

ふり返り用紙 (各自1枚ずつ)、筆記用具

7. 本時の展開

| 活動の流れ ・ 予想される児童の反応  | 教師の支援と評価  |
|---|---|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">ウォーミングアップ 5分</div> <p>『ハンカチが落ちるまで』……ハンカチが落ちるまで，声を出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「うまく，止まった！」</li> </ul>  | <p>落ちるところが見えるように配慮する。</p> <p>声の大きさを変えてやってみる。</p> <p>みんなで一つのことをする楽しさを味わわせたい。</p>   |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">メインエクササイズ 30分</div> <p>『色えんぴつ忘れちゃった』</p> <p>ルールを把握する。</p> <p>班のやり方を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「情報カードの順番通りに言っていこうよ。」</li> <li>・「直接色がわかるものから言っていこう。」</li> <li>・「まず最初は，カレーの情報から集めよう。」</li> </ul> <p>自分の情報を班の人に強調したり，間をおいたりして正確に伝える。</p> <p>また，一人一人の情報を大切に聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「牛にゆうはみずいるです。」</li> <li>・「スプーンとカレーのさらは同じ色です。」</li> </ul> <p>「まだ分からないね，後回しにしよう！」</p> <p>情報をもとにして，自分が担当している色をぬる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ここ，きいろとオレンジいろをかさねた色だった。」</li> </ul> <p>「どうやってぬるのかなぁ～。」</p> | <p>ねらいとルールを板書する。</p> <p>質問がないか確認する。</p> <p>とまどっている班には，励まして協力できるようにする。</p> <p>(評)</p> <p>正確に聞こうとしていたか。</p> <p>正確に話そうとしていたか。</p> <p>情報をもとに協力して色を考えることができたか。</p> |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">シェアリング 10分</div> <p>ふり返し用紙に記入する。</p> <p>挙手または指名により，発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協力してできました。</li> <li>・しっかり話したり，聞いたりできました。</li> <li>・聞く姿勢が大事だと思います。</li> <li>・絵ができたとき思わず声が出てしまいました。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・間違いがあったグループには，ねらいを思い出させ，協力の様子などをほめる。</li> </ul>   |